

平成 26 年度 業務実績報告書（案）

参考資料集

平成 27 年 6 月

公立大学法人 名古屋市立大学

目次

年度計画 No.	資料名	頁数
1	学士課程におけるアドミッション・ポリシー	1
3	地域連携参加型学習の概要（シラバス）	13
6	英語教育に係る全学及び各学部の方針と計画	14
8	GPA の個別学修指導への活用について	20
14	平成 26 年度「なごやかモデル」の実施状況（報告書等）	22
18	「ようこそ大学へ！プロジェクト」について	54
27	平成 26 年度国際学会発表支援事業 実績一覧	57
37	システム自然科学研究科における系再編の概要	58
39	基礎自然科学系学部設置構想について	59
44	平成 26 年度研究授業実施状況	60
46	教務事務研修実施概要	61
49	FD 講演会開催案内	62
50	「名市大 S-Key システム」について	63
67	社会連携センターの概要	64
70	平成 26 年度公開講座等実績一覧	65
70	「第 17 回国際福祉健康産業展～ウェルフェア 2014～」開催結果	69
74	国際交流協定校一覧	70
79	NICU・GCU の増床について	71
89	初診料加算額の引き上げ後の状況について	72
91	連携研修プログラムの概要	73
94	サクラ咲くプラン	74
特記事項	医療デザイン研究センターの概要	86
97	平成 26・27 年度名古屋市立大学組織図	88
125	教員の所属別・補職別・性別比率について	92

アドミSSION・ポリシー（医学部）

医学は生命科学、心理学、社会科学、倫理学を基盤とする応用科学である。医師には、病気の原因や病態を科学的に解明し、診断法や治療法を開発する科学者としての役割、病気を治し、病人の苦痛を和らげ心身を癒す治療者としての役割、そして人々の健康を維持・増進し、人類の未来と幸福を守る社会的役割が求められる。これらの役割を果たすには、医療のプロフェッショナルとしての高度な医学知識と臨床能力、的確かつ柔軟なコミュニケーション能力、強い倫理感に基づく判断力の基盤の上に、卓越した学識と創造性豊かで高潔な人間性、そして他者の利益のために人生を捧げる献身性が必要である。さらに、今日、医療・保健活動や医学研究は、国際的な連携のもとで実施されることが多く、国際的な視野と感性も重要である。名古屋市立大学医学部では、このような医師、医学研究者を目指す強い意志をもった人を求め、一般、推薦B、地域枠推薦の3つの入学試験を施行している。それぞれの入学試験において求める学生は以下の資質、素養を有する者である。

《求める学生像》

【一般入試】

医学・医療への使命感、倫理観と幅広い知識を持ち、他の医療従事者と協調して、患者さんのための医療ができる国際的視野を持った学生を求めます。

- ・医学・医療への使命感と倫理観をもった人
- ・幅広い科目の学力を備えている人
- ・自分を律し、患者さんを思いやれる人
- ・国際的な視野を持てる人

【推薦入試B】

基礎、臨床、社会医学を問わず創造性豊かな探究心を持ち、将来、指導的な立場で活動し、医師または研究者として国際的視野で医学・医療の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- ・ヒューマニティ：人間性豊かな人
- ・クリエイティブ：創造性豊かな探究心を持った人
- ・チャレンジ：基礎、臨床、社会医学を問わず医学や科学の課題に挑戦できる人
- ・インターナショナル：名古屋から世界への発信できる人
- ・リーダーシップ：将来、指導的な立場に立って医師・研究者として本学の発展に貢献する強い意志のある人

【地域枠推薦入試】

人間性豊かで、自然科学だけでなく社会や文化に関する幅広い知識を持ち、将来、医学・医療の分野において地域社会に貢献する意欲のある学生を求めます。

・豊かな人間性を持ち、医学・医療の発展に生涯を捧げる意志と知的探求心を持ち続けられる人

- ・愛知県の地域医療に貢献するという強い意志と使命感を持った人
- ・自然科学とともに社会や文化に関する幅広い基礎学力を備えた人
- ・自分の行動の結果への責任感と他人を思いやる気持ちを備えた人
- ・高い倫理観を持ち、リーダーシップと協調性、コミュニケーション能力に優れた人
- ・国際的な視野を持ち、かつ地域の患者さんや社会のために着実な活動のできる人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・基礎医学を学習する上での基盤となる理科、数学、語学の基礎学力
- ・文章の読解、考えの口頭および文章での表現、円滑なコミュニケーションのための十分な国語力と英語力
- ・人間理解の基盤となる社会、経済、文化、芸術、思想など多様な領域に対する向学心と素養
- ・自ら学習課題を見出し解決できる意欲と行動力

アドミッション・ポリシー（薬学部）

《理念・目的・教育目標》

【生命薬科学科】【薬学科】

薬学は、様々な基礎科学を薬に関して総合し、医療への応用を目指す学問です。医療に不可欠な学問である薬学を志す人は、薬を通じて人類の健康と福祉の発展に貢献することが求められています。これを踏まえ、薬学部では生命薬科学科と薬学科を設置し、薬の創製・生産・臨床応用・適正管理・適正使用のための基礎能力と研究能力を幅広く身に付け、世界に羽ばたける多彩な薬のスペシャリストを社会に送り出すことを目指しています。

《求める学生像》

本学部では次のような人を求め、入学を歓迎します。

【生命薬科学科】

- ・薬学への強い意欲と探究心を持った人

科学としての薬学に強い学習意欲と探究心を有している人を求めます。

- ・医療・薬学への使命感と倫理観を持った人

薬のスペシャリストとして医療現場での薬剤師活動、医薬品の研究開発、行政などを通じて、人類の健康と福祉の発展に貢献するという使命感と倫理観を持てる人を求めます。

- ・科学を中心とする幅広い学力を有する人

薬学は自然科学の応用分野で、理科系の学力を重視します。しかし、薬剤師や薬学分野の研究者・技術者には、社会科学や人文社会学をも含む幅広い学問知識と教養が必要です。そのため、文系科目に関しても基礎的な知識を有する人を求めます。

- ・国際的な視野とコミュニケーション能力を持てる人

医薬品研究開発や医療人としての活動において、国際的なレベルでの連携が不可欠な時代となっています。将来、国際的な視野で考え、コミュニケーションを円滑に取り、行動できる能力の獲得を目指し、そのための努力を継続できる人を求めます。

- ・生命科学としての薬学への向学心を有する人

将来、基礎薬学研究や医薬品開発等を通じて、科学者として人類の健康と福祉の発展に貢献しようという情熱を有する人を求めます

- ・大学院への進学意欲を持つ人

卒業後は大学院に進学して創薬・生命科学、臨床薬学の進歩に貢献しようとする強い意欲を持った人を求めます。

【薬学科】

- ・薬学への強い意欲と探究心を持った人

科学としての薬学に強い学習意欲と探究心を有している人を求めます。

- ・医療・薬学への使命感と倫理観を持った人

薬のスペシャリストとして医療現場での薬剤師活動、医薬品の研究開発、行政などを通じて、人類の健康と福祉の発展に貢献するという使命感と倫理観を持てる人を求めます。

- ・科学を中心とする幅広い学力を有する人

薬学は自然科学の応用分野で、理科系の学力を重視します。しかし、薬剤師や薬学分野の研究者・技術者には、社会科学や人文社会学をも含む幅広い学問知識と教養が必要です。そのため、文系科目に関しても基礎的な知識を有する人を求めます。

- ・国際的な視野とコミュニケーション能力を持てる人

医薬品研究開発や医療人としての活動において、国際的なレベルでの連携が不可欠な時代となっています。将来、国際的な視野で考え、コミュニケーションを円滑に取り、行動できる能力の獲得を目指し、そのための努力を継続できる人を求めます。

- ・医療人としての自覚を持てる人

将来、薬剤師として患者さんを思いやり、医療に携わる様々な職種の人々と協調して、患者さんのための医療に貢献しようという意欲のある人を求めます。

- ・大学院への進学意欲を持つ人

卒業後は大学院に進学して創薬・生命科学、臨床薬学の進歩に貢献しようとする強い意欲を持った人を求めます。

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

【生命薬科学科】【薬学科】

薬学部では、両学科とも広範で多様な学問分野を総合的に学習する。また、どのような分野で活躍するにしても、語学力（国語、英語）が必要とされる。したがって、薬学部での学修をより多いものとするために、入学までに、化学、物理学、生物学、数学、語学の基礎学力をつけておくことが必要である。さらに、部活やボランティアなど、様々な活動に積極的に取り組むことで、表現力やコミュニケーション能力のほか、幅広い視野と高い倫理観、そして豊かな人間性を育むことが望ましい。

アドミッション・ポリシー（経済学部）

【一般入試】及び【推薦入試B】

《求める学生像》

本学部の教育理念と目的にしたがって、次のような意欲と能力に満ちた学生が入学することを期待し歓迎します。

- ・前向きな学習意欲を持っている人
- ・豊かな教養の形成を目指す人
- ・経済・経営分野への高い知的関心を持っている人
- ・国際的分野について十分な理解力を持っている人
- ・自分の行動に責任を持てる人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・国内外の状況を知ったり、専門の文献を読んだりするための語学力
- ・論理的な分析をするための基礎となる数学の知識
- ・人間の行動を理解するための幅広い知識

3

【推薦入試A】

《求める学生像》

本学部の教育理念と目的にしたがって、次のような意欲と能力に満ちた学生が入学することを期待し歓迎します。

- ・専門学科または総合学科で習得した専門的な知識等をいかし、同世代のリーダーたろうとする気概のある人
- ・前向きな学習意欲を持っている人
- ・豊かな教養の形成を目指す人
- ・経済・経営分野への高い知的関心を持っている人
- ・国際的分野について十分な理解力を持っている人
- ・自分の行動に責任を持てる人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・自らの意見を述べ、アピールできる表現力
- ・人間の行動を理解するための幅広い知識

【私費外国人留学生入試】

《求める学生像》

本学部の教育理念と目的にしたがって、次のような意欲と能力に満ちた学生が入学することを期待し歓迎します。

- ・異文化についての理解力があり、進んで日本社会にとけこみ、将来は名古屋地域と出身地・

出身国との友好に資するはたらきをする志と能力を持っている人

- ・前向きな学習意欲を持っている人
- ・豊かな教養の形成を目指す人
- ・経済・経営分野への高い知的関心を持っている人
- ・自分の行動に責任を持てる人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・自らの意見を述べ、アピールできる日本語の表現力
- ・自分の考えを表現できる日本語の作文力
- ・人間の行動を理解するための幅広い知識

アドミSSION・ポリシー（人文社会学部）

＜学部共通アドミSSION・ポリシー＞

人文社会学部では次のような人の入学を期待している。

《求める学生像》

- ・人間・社会・文化の諸問題に興味をもって接し、深い専門知識と幅広い学識を生かして、将来、地域社会に貢献し、また国際社会で活躍したいという意欲を持つ人
- ・勉学意欲を持ち、知的好奇心や柔軟な発想力を持つ人
- ・多様な社会経験や異文化経験を持つ人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・国語・英語・数学について十分な基礎学力を有すること
- ・自分の考えを筋道立てて説明できる論理的な思考力や言語表現力を持ち、十分なコミュニケーション能力を備えていること

＜心理教育学科＞

【一般入試】

《求める学生像》

人間についての諸問題に興味をもち、心理学や教育学を学んで、人間の多様性を尊重し、生涯発達支援や次世代育成に取り組もうという意欲のある人

人間の個性、生涯発達の過程また環境との関係の中で生じる多様性について総合的に学んで、子どもの発達に関わる現代的諸課題の解決およびその健やかな発達を保障する教育と心理的支援に貢献しようという意欲のある人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

文章を読み、考えを口頭や文章で表現するため、円滑なコミュニケーションをするために、日本語の十分な能力、英語の基本的運用能力を身につけていること

心理学・教育学や社会科学において、諸現象の数理的解析のために必要な、数学の基本的な内容と応用力を身につけていること

社会科、理科など、幅広い分野について基本的な知識を有していること

【推薦入試】

《求める学生像》

保育・幼児教育や子育て等に関わる、専門的知識を生かした仕事をすることを目指す人

国内外の保育・教育、または子どもの発達を科学的に探究していく意欲のある、明るく前向きな人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

国語・外国語・数学について十分な基礎学力を有し、その他の教科についても基礎学力を有していること

基本的な論理的思考力や言語表現能力、子どもやその親とのコミュニケーションをはかる能力をもち、基本的な音楽的素養を有していること

【私費外国人留学生入試】

《求める学生像》

日本への関心や勉学の意欲をもち、将来、日本への留学経験を生かそうとする人

心理学・教育学や、保育・子育てについて、学びたい人

明るく前向きで、多様な社会経験や異文化経験を持つ人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

学修、特に講義を理解し、レポートなどを作成するのに必要な、日本語運用能力を有していること

ある程度の英語の運用能力を有していること

【帰国子女・外国学校出身者入試】

《求める学生像》

日本への関心や勉学の意欲をもち、将来、海外での経験を生かそうとする人

心理学・教育学や、保育・子育てについて、学びたい人

明るく前向きで、多様な社会経験や異文化経験を持つ人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

学修、特に講義を理解し、レポートなどを作成するのに必要な、日本語運用能力を有していること

ある程度の英語の運用能力を有していること

【第三次編入学入試】

《求める学生像》

心理学や教育学について、深く学ぼうとする意欲のある人で、かつ保育士資格・幼稚園教諭免許に関係する科目を履修しており、さらに深く保育・幼児教育あるいは子育て等に関わ

る専門的知識を学ぼうとする人

明るく前向きで、多様な社会経験や異文化経験を持つ人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

大学三学次以降の学修、特に討論したり、レポートや卒業論文を作成したりするために必要な、日本語の十分な能力、英語の基本的運用能力を身につけていること

＜現代社会学科＞

【一般入試】

《求める学生像》

現代社会の諸問題に関心を持ち、その解決のために努力する人

社会科学の諸分野を幅広く学修する意欲がある人

大学での学修のために必要な基礎知識を十分に習得し、勉学意欲を持ち、知的好奇心や柔軟な発想力を持つ人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

高校卒業程度の国語・数学・英語・社会科（地理歴史、公民）・理科の知識を有していること

大学での学修に必要な論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有していること

【推薦入試】

《求める学生像》

現代社会の諸問題に関心を持ち、その解決のために努力する人

社会科学の諸分野を幅広く学修する意欲がある人

大学での学修のために必要な基礎知識を十分に習得し、勉学意欲を持ち、知的好奇心や柔軟な発想力を持つ人

学内外の社会調査フィールドワークに積極的に参加する意欲のある人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

高等学校卒業程度の国語・数学・外国語・社会科（地理歴史、公民）・理科の知識を有していること

大学での学修に必要な論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有していること

【私費外国人留学生入試】

《求める学生像》

現代日本社会の諸問題に関心を持ち、日本社会における知識を自国および日本の社会問題の解決に役立てようという意欲のある人

大学での学修のために必要な基礎知識を十分に習得し、勉学意欲を持ち、知的好奇心や柔軟な発想力を持つ人

社会科学の諸分野を幅広く学修する意欲がある人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

日本での学修に支障のない日本語能力を有していること

大学における学修に必要な、日本の高等学校卒業程度の国語・数学・英語・社会科（地理、歴史、公民）・理科の知識を有していること

【帰国子女・外国学校出身者入試】

《求める学生像》

現代社会の諸問題に関心を持ち、その解決のために努力する人

大学での学修のために必要な基礎知識を十分に習得し、勉学意欲を持ち、知的好奇心や柔軟な発想力を持つ人

社会科学の諸分野を幅広く学修する意欲がある人

海外において得た知識経験を生かし、社会の諸問題に関して現代社会学科において専門的知識を得ようとする人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

高等学校卒業程度の国語・数学・英語・社会科（地理歴史、公民）・理科の知識を有していること

大学での学修に必要な論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有していること

【第三学次編入学入試 一般】

《求める学生像》

現代社会の諸問題に関心を持ち、その解決のために努力する人

これまでの短大・大学で得た、知識経験を生かし、社会の諸問題に関して現代社会学科において専門的知識を得ようとする人

大学での学修のために必要な基礎知識を十分に習得し、勉学意欲を持ち、知的好奇心や柔軟な発想力を持つ人

大学三学次での学修のために必要な教養と論理的思考、討論発表能力、文章表現が身についた人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》
社会科学の分野に関する基礎的な知識を有していること
大学三次での学修のために必要な論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有していること
大学教養課程修了程度の語学力を有していること

【第三次編入学入試 社会人】
《求める学生像》
現代社会の諸問題に関心を持ち、その解決のために努力する人
社会人としてのこれまでの経験で社会問題の解決に生かそうとする意欲のある人
大学での学修のために必要な基礎知識を十分に習得し、勉学意欲を持ち、知的好奇心や柔軟な発想力を持つ人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》
大学三次での学修のために必要な論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有していること
社会科学の分野に関する基礎的な知識を有していること

＜国際文化学科＞
【一般入試】
《求める学生像》
文化の諸問題に興味をもち、人文科学・社会科学諸分野の幅広い教養を身につけ、グローバルかつローカルな視点から自文化と異文化の相互関係を理解しようという意欲のある人
英語その他の外国語の実践的な言語コミュニケーション能力を身につけ、地域社会と地球社会に貢献しようという意欲のある人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》
高校卒業程度の国語・数学・英語・社会科（地理歴史、公民）・理科の知識を有していること
文章を読み、考えを口頭や文章で表現し、円滑なコミュニケーションをするために、英語など外国語の基本的運用能力、日本語の十分な能力を身につけていること

【推薦入試】
《求める学生像》
自文化と異文化、また国際問題について知的実践的関心を持ち、理解したことを論理的に

表現できる人
問題解決のために率先して活動し、地域社会と地球社会に貢献しようとする意欲のある人
相手の意見を尊重しつつ、個性的創造的視点を持って討論し、議論をまとめ上げるコミュニケーション能力に富む人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》
高等学校で学ぶすべての科目における十分な学力を有すること
言語に関心を持ち、優れた外国語運用能力を有すること

【私費外国人留学生入試】
《求める学生像》
日本への関心や勉学の意欲をもち、将来、日本への留学経験を生かそうとする人
さまざまな文化や、国際関係について学ぶことで、地域社会と地球社会に貢献しようとする意欲のある人
自文化と異文化の相互関係を理解しようという意欲があり、多様な社会経験や異文化経験を身につける人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》
講義を理解するために必要な日本語運用能力を有すること
かなりの程度の英語の運用能力を有すること

【帰国子女・外国学校出身者入試】
《求める学生像》
日本への関心や勉学の意欲をもち、海外での経験を生かそうとする人
さまざまな文化や、国際関係について学ぶことで、地域社会と地球社会に貢献しようとする意欲のある人
自文化と異文化の相互関係を理解しようという意欲があり、多様な社会経験や異文化経験を身につける人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》
講義を理解するために必要な日本語運用能力を有すること
かなりの程度の英語の運用能力を有すること

【第三次編入学入試 一般】
《求める学生像》

自文化や異文化、また国際問題などに対して、語学学習にとどまらない具体的に深い知的好奇心と勉学意欲を持ち、地域社会と地球社会に貢献しようとする意欲のある人

これまで在籍した短大・大学で得た知識経験を活かして、積極的に議論や研究を行い、それを論理的に表現できる人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

人文社会学の基礎的な知識を持ち、大学、とくにゼミでの学修に必要な論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有すること

原書を読んだり、討論するなどのアカデミック・スキルとしての英語運用能力、または英語以外の外国語運用能力を有すること

【第三次編入学入試 社会人】

《求める学生像》

自文化や異文化、また国際問題などに対して、語学学習にとどまらない具体的に深い知的好奇心と勉学意欲を持ち、地域社会と地球社会に貢献しようとする意欲のある人

社会人としてこれまでに得た多様な社会経験や異文化経験を活かして、積極的に議論や研究を行い、それを論理的に表現できる人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

人文社会学の基礎的な知識を持ち、大学、とくにゼミでの学修に必要な論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有すること

原書を読んだり、討論するなどのアカデミック・スキルとしての英語運用能力、または英語以外の外国語運用能力を有すること

アドミッション・ポリシー（芸術工学部）

情報環境デザイン学科

【一般入試】前期

《求める学生像》

情報環境デザインへの知的関心と探究心を持ち、メディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わる、デザイナー、クリエイター、技術者等として、国内外の情報デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- ・理学と情報通信、および、芸術に強い関心を持つ人
- ・情報通信、メディア工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
- ・デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、メディアや情報により提案できる人
- ・学習したことへの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫のできる人
- ・理学、情報通信、芸術の融合による、情報、映像、音響などのメディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わるデザイナー、クリエイター、技術者等を指す人
- ・数学や英語の優れた学力に加え、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、情報デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

・情報通信、メディア工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基礎となる数学の基礎学力

・ユーザーインターフェイス、映像、音響、テキスタイル分野のデザインや造形の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力

・外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力

・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力

【一般入試】後期

《求める学生像》

情報環境デザインへの知的関心と探究心を持ち、メディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わる、デザイナー、クリエイター、技術者等として、国内外の情報デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- ・理学と情報通信、および、芸術に強い関心を持つ人

- ・情報通信、メディア工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
- ・デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、メディアや情報により提案できる人
- ・学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫のできる人
- ・理学、情報通信、芸術の融合による、情報、映像、音響などのメディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わるデザイナー、クリエーター、技術者等を目指す人
- ・豊かな表現力、優れた構想力に加え、数学や英語の学力、理学、工学の知識、技法を修得し、情報デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・情報通信、メディア工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基礎となる基礎学力
- ・ユーザーインターフェイス、映像、音響、テキスタイル分野のデザインや造形の実習で、自由な表現を可能とするための描写力と構想力
- ・外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力

【推薦入試】

《求める学生像》

- 情報環境デザインへの知的関心と探究心を持ち、メディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わる、デザイナー、クリエーター、技術者等として、国内外の情報デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。
- ・理学と情報通信、および、芸術に強い関心を持つ人
- ・情報通信、メディア工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
- ・デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、メディアや情報により提案できる人
- ・学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫のできる人
- ・理学、情報通信、芸術の融合による、情報、映像、音響などのメディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わるデザイナー、クリエーター、技術者等を目指す人
- ・幅広い基礎学力と知識、数学、英語の優れた学力に加え、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、情報デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・情報通信、メディア工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基礎となる基礎学力
- ・ユーザーインターフェイス、映像、音響、テキスタイル分野のデザインや造形の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力
- ・外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力

【私費外国人留学生入試】

《求める学生像》

- 情報環境デザインへの知的関心と探究心を持ち、メディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わる、デザイナー、クリエーター、技術者等として、国内外の情報デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。
- ・理学と情報通信、および、芸術に強い関心を持つ人
- ・情報通信、メディア工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
- ・デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、メディアや情報により提案できる人
- ・学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫のできる人
- ・理学、情報通信、芸術の融合による、情報、映像、音響などのメディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わるデザイナー、クリエーター、技術者等を指す人
- ・異文化経験を持ち、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、情報デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・情報通信、メディア工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基礎となる基礎学力
- ・ユーザーインターフェイス、映像、音響、テキスタイル分野のデザインや造形の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力
- ・外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための日本語力

【帰国子女・外国学校出身者入試】

《求める学生像》

情報環境デザインへの知的関心と探究心を持ち、メディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わる、デザイナー、クリエイター、技術者等として、国内外の情報デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- ・理学と情報通信、および、芸術に強い関心を持つ人
- ・情報通信、メディア工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
- ・デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、メディアや情報により提案できる人
- ・学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫のできる人
- ・理学、情報通信、芸術の融合による、情報、映像、音響などのメディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わるデザイナー、クリエイター、技術者等を目指す人
- ・異文化経験を持ち、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、情報デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・情報通信、メディア工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基礎となる基礎学力
- ・ユーザーインターフェイス、映像、音響、テキストスタイル分野のデザインや造形の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力
- ・外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための日本語力

産業イノベーションデザイン学科

【一般入試】前期

《求める学生像》

産業イノベーションデザインへの知的関心と探究心を持ち、プロダクト、グラフィック、3DCG分野における、新しいあり方を創造するデザイナー、技術者等として、国内外の産業デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- ・理学と芸術への強い関心と、デザイン、工学への興味を持つ人
- ・機械・電子工学、ロボット工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
- ・デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、プロダクト、グラフィックス、工学的知識により提案できる人

- ・学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫できる人
- ・理学と芸術の融合による、プロダクト、グラフィック、3DCG分野における、新しいあり方を創造するデザイナー、技術者等を目指す人
- ・数学や英語の優れた学力に加え、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、産業デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・機械・電子工学、ロボット工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基礎となる数学の基礎学力
- ・プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、3DCG分野のデザインや造形の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力
- ・外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力

【一般入試】後期

《求める学生像》

産業イノベーションデザインへの知的関心と探究心を持ち、プロダクト、グラフィック、3DCG分野における、新しいあり方を創造するデザイナー、技術者等として、国内外の産業デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- ・理学と芸術への強い関心と、デザイン、工学への興味を持つ人
- ・機械・電子工学、ロボット工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
- ・デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、プロダクト、グラフィックス、工学的知識により提案できる人
- ・学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫できる人
- ・理学と芸術の融合による、プロダクト、グラフィック、3DCG分野における、新しいあり方を創造するデザイナー、技術者等を目指す人
- ・豊かな表現力、優れた構想力に加え、数学や英語の学力、理学、工学の知識、技法を修得し、産業デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・機械・電子工学、ロボット工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基礎となる基礎学力
- ・プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、3DCG分野のデザインや造形の実習で、自由な表現を可能とするための描写力と構想力

- ・外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力

【推薦入試】

《求める学生像》
産業イノベーションデザインへの知的関心と探究心を持ち、プロダクト、グラフィック、3DCG分野における、新しいあり方を創造するデザイナー、技術者等として、国内外の産業デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- ・理学と芸術への強い関心と、デザイン、工学への興味を持つ人
- ・機械・電子工学、ロボット工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
- ・デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、プロダクト、グラフィックス、工学的知識により提案できる人
- ・学習したことへの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫できる人
- ・理学と芸術の融合による、プロダクト、グラフィック、3DCG分野における、新しいあり方を創造するデザイナー、技術者等を目指す人
- ・幅広い基礎学力と知識、数学、英語の優れた学力に加え、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、産業デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・機械・電子工学、ロボット工学などの分野の先端技術を積極的に学び、これらの理論や技法を理解するための基盤となる数学の基礎学力
- ・プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、3DCG分野のデザインや造形の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力
- ・外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力

【私費外国人留学生入試】

- 《求める学生像》
産業イノベーションデザインへの知的関心と探究心を持ち、プロダクト、グラフィック、3DCG分野における、新しいあり方を創造するデザイナー、技術者等として、国内外の産業デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。
- ・理学と芸術への強い関心と、デザイン、工学への興味を持つ人
 - ・機械・電子工学、ロボット工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人

- ・デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、プロダクト、グラフィックス、工学的知識により提案できる人
- ・学習したことへの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫できる人
- ・理学と芸術の融合による、プロダクト、グラフィック、3DCG分野における、新しいあり方を創造するデザイナー、技術者等を目指す人
- ・異文化経験を持ち、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、産業デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・機械・電子工学、ロボット工学などの分野の先端技術を積極的に学び、これらの理論や技法を理解するための基盤となる数学の基礎学力
- ・プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、3DCG分野のデザインや造形の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力
- ・外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための日本語力

【帰国子女・外国学校出身者入試】

《求める学生像》

- 産業イノベーションデザインへの知的関心と探究心を持ち、プロダクト、グラフィック、3DCG分野における、新しいあり方を創造するデザイナー、技術者等として、国内外の産業デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。
- ・理学と芸術への強い関心と、デザイン、工学への興味を持つ人
 - ・機械・電子工学、ロボット工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
 - ・デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、プロダクト、グラフィックス、工学的知識により提案できる人
 - ・学習したことへの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫できる人
 - ・理学と芸術の融合による、プロダクト、グラフィック、3DCG分野における、新しいあり方を創造するデザイナー、技術者等を目指す人
 - ・異文化経験を持ち、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、産業デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・機械・電子工学、ロボット工学などの分野の先端技術を積極的に学び、これらの理論や技法を理解するための基盤となる数学の基礎学力

- ・プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、3DCG分野のデザインや造形の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力
- ・外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための日本語力

建築都市デザイン学科

【一般入試】前期

《求める学生像》

- 建築・都市分野への知的関心と探究心に加え、倫理観と幅広い基礎知識をもち、設計者や技術者等として、国内外の建築・都市分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。
- ・建築・都市分野への強い関心とデザインへの興味を持つ人
- ・継続的な努力ができる人
- ・自分を律し、責任感と倫理観を備える人
- ・人間性豊かな感性と探究心を持つ人
- ・大学院への進学意欲を持ち、建築・都市分野の発展に寄与する意欲のある人
- ・多様な社会や異文化に興味を持つ人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・建築学・都市学を修得する上での基盤となる、数学・理科の基礎学力
- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力と英語力
- ・基礎的描写力
- ・建築学・都市学及び人間理解の基盤となる社会・文化・芸術・思想など多様な領域の基礎的素養

【一般入試】後期

《求める学生像》

- 建築・都市分野への知的関心と探究心に加え、倫理観と幅広い基礎知識をもち、設計者や技術者等として、国内外の建築・都市分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。
- ・建築・都市分野への強い関心とデザインへの興味を持つ人
- ・継続的な努力ができる人
- ・自分を律し、責任感と倫理観を備える人
- ・人間性豊かな感性と探究心を持つ人

- ・大学院への進学意欲を持ち、建築・都市分野の発展に寄与する意欲のある人
- ・多様な社会や異文化に興味を持つ人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・建築学・都市学を修得する上での基盤となる、数学・理科の基礎学力
- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力と英語力

・基礎的描写力と構想力

- ・建築学・都市学及び人間理解の基盤となる社会・文化・芸術・思想など多様な領域の基礎的素養

【推薦入試】

《求める学生像》

- 建築・都市分野への知的関心と探究心に加え、倫理観と幅広い基礎知識をもち、設計者や技術者等として、国内外の建築・都市分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。
- ・建築・都市分野への強い関心とデザインへの興味を持つ人
- ・継続的な努力ができる人
- ・自分を律し、責任感と倫理観を備える人
- ・人間性豊かな感性と探究心を持つ人
- ・大学院への進学意欲を持ち、建築・都市分野の発展に寄与する意欲のある人
- ・多様な社会や異文化に興味を持つ人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・建築学・都市学を修得する上での基盤となる、数学・理科の基礎学力
- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力と英語力

・基礎的描写力

- ・建築学・都市学及び人間理解の基盤となる社会・文化・芸術・思想など多様な領域の基礎的素養

【私費外国人留学生入試】

《求める学生像》

- 建築・都市分野への知的関心と探究心に加え、倫理観と幅広い基礎知識をもち、設計者や技術者等として、国内外の建築・都市分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。
- ・建築・都市分野への強い関心とデザインへの興味を持つ人

- ・継続的な努力ができる人
- ・自分を律し、責任感と倫理観を備える人
- ・人間性豊かな感性と探究心を持つ人
- ・大学院への進学意欲を持ち、建築・都市分野の発展に寄与する意欲のある人
- ・多様な社会や異文化に興味を持つ人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための日本語力と英語力
- ・建築学・都市学を修得する上での基盤となる、数学・理科の基礎学力
- ・建築学・都市学及び人間理解の基盤となる社会・文化・芸術・思想など多様な領域の基礎的素養
- ・基礎的描写力

【帰国子女・外国学校出身者入試】

《求める学生像》

- 建築・都市分野への知的関心と探究心に加え、倫理観と幅広い基礎知識をもち、設計者や技術者等として、国内外の建築・都市分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。
- ・建築・都市分野への強い関心とデザインへの興味を持つ人
- ・継続的な努力ができる人
- ・自分を律し、責任感と倫理観を備える人
- ・人間性豊かな感性と探究心を持つ人
- ・大学院への進学意欲を持ち、建築・都市分野の発展に寄与する意欲のある人
- ・多様な社会や異文化に興味を持つ人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための日本語力と英語力
- ・建築学・都市学を修得する上での基盤となる、数学・理科の基礎学力
- ・建築学・都市学及び人間理解の基盤となる社会・文化・芸術・思想など多様な領域の基礎的素養
- ・基礎的描写力

アドミッション・ポリシー（看護学部）

【推薦入試B、陸前高田市卒推薦入試、一般入試（前期、後期）】

看護学は、人々の健康を生活の側面より支える学問です。看護学を志す人には、人に対する温かいまなざしと物事を客観的に捉え判断することのできる冷静さを併せ持っていることが求められます。看護学部では、次のような人を求め、入学を歓迎します。

《求める学生像》

- ・看護学に興味があり、将来、看護に関する仕事を通して地域社会に貢献したいと考え、その目標に向かって新しいことを意欲的に学ぶ姿勢をもっている人
- ・人とのかわりをいとわず、様々な背景をもつ多様な文化を尊重し、他者を思いやる気持ちをもっている人
- ・理系および文系科目を幅広く履修し、多様な側面をもつ看護学を修得するための十分な基礎学力を身につけている人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- ・理系および文系科目を幅広く学修し、看護学を修得するための十分な基礎学力
- 看護学は、医学や薬学をはじめとする自然科学系の学問や、人との関係や家族や社会との関わり、様々な制度など、人文科学や社会科学に関する内容を専門基礎としての位置づけで学習します。そのため、入学には、高等学校卒業までに修得すべき基礎学力を偏りなく、幅広く身につけておくことが必要です。
- ・他者と良好な関係を築くための言語的・非言語的なコミュニケーション能力
- 看護学の対象は様々な発達段階・健康状態にあり、多彩な背景を持つ人であることから、その人に適した柔軟なコミュニケーションをとる必要があります。そのため、相手の考えや気持ちを理解することに加え、自分の考えを言語化しそれを適切に伝えられるように、国語力及び英語力を身につけておくことが求められます。さらに、他者と良好な関係を築くためには、クラブ活動やボランティア活動などの様々な経験を通して非言語的なコミュニケーション能力を身につけておくことも必要です。

【年度計画3】

【授業科目名】地域連携参加型学習 (KGTI020020)

【担当教員】吉田一彦 松村文人 水野みか子 横山清子 古賀弘之

【実施期】後期 【単位数】 2

【授業形態】講義

【対象学生】教養教育

□■ 授業の目的・目標

この授業の目的の第一は、地域と連携し、地域を志向した教育の実施である。大学の講義科目は教室で座学にて学ぶ科目が多く、それが授業科目の中心をなしている。これに対して、この科目は、学生が教室から外に出て、地域の課題に触れ、地域の人々と触れ合いながら、地域の課題やその論点を発見して、その解決策について議論し、ともに考える中で学ぶという科目になっている。第二の目的は学部間の学生連携である。大学の専門教育は学部単位で行なわれ、教養教育においても他学部学生との深い交流は限定されている。これに対して、この科目では、経済学部、人文社会学、芸術工学部の学生がともに学び、調査・活動を行ない、プレゼンテーションをし、評価を受けるという学部間連携科目になっている。第三の目的は地域への貢献である。学生が地域に出ていき、地域の人々とともに問題点を考察する中で、地域社会を若い力で活性化していく。

□■ 授業計画

1オリエンテーション、グループ分け
2クラスごとの事前指導と計画の設定
3～6地域での調査・活動
7～8中間報告
9～12地域での調査・活動
13～14プレゼンテーション
15まとめ

□■ 成績判定基準

レポート（30％）、プレゼンテーション（30％）、授業への参加度（平常点、40％）

【年度計画6】

名古屋市立大学での語学教育の基本方針

1. 名古屋市立大学憲章の精神に基づき、本学の特性と実情（6学部、分散キャンパス、等）に合った、実現可能で、魅力ある語学教育の提供を目指す。
2. （内向きで地元志向が強いといわれる）名市大生の目を世界に向けさせ、グローバルな視点とコミュニケーション能力をもち、世界に積極的に発信し、多文化共生社会の実現に寄与する人材を育成することを目指す（Global Citizenship Program）。
3. 学部の特性の違いに加えて、語学学習に関する学生の興味・ニーズ・レベルには大きな個人差があるという認識に立ち、多様性のある学習環境の提供を目指す。
4. 教養教育としての語学プログラムと、学部別の専門教育としての語学プログラムの連携をはかり、4年間（6年間）一貫した効率の良いプログラムの確立を目指す。
5. 成果指標、達成目標を定め、体系的な語学教育を提供することにより、語学教育の質を保証する。

英語力向上のための方針と計画について（専門教育）

学部	方策及び計画等
医学部	入学時に TOEIC-IP テストを実施し、優秀者には単位認定をして、授業免除を行うとともに、研究室での医学論文の抄読会への参加など高度な学習が可能な機会を提供したい。 TOEIC-IP テストが一定の水準に達しない者に対しては、通常の外国語の単位取得をしてもらうとともに、一定水準に達するまで毎回 TOEIC-IP テストを受けるようにしたい。そして TOEIC-IP テストを奨励するために、医学英語の成績とあわせて進級要件としたい。 医学専門教育では、医学用語の英語語彙力、英語による医療面接技能、原著論文読解能力、英文による医学研究報告の抄録作成能力の習得を目標とする授業を実施しているが、今後、卒業時点までに習得すべき能力レベルを再検討し、その確実な達成のために、学習順序や配当学年の見直し、学習評価法などの改革を行いたい。 【1】薬学部・薬学研究科における英語教育充実の必要性 薬学部は、6 年制の薬学科と 4 年制の生命薬科学科からなり、前者は薬剤師、後者は研究者・技術者を育てることが主な目的である。従って、英語教育も両学科共通の基礎教育とそれぞれの学科に則した教育とが必要となる。さらに、両学科とも大学院へ進学して臨床や創薬の現場で研究者として活躍する人材、グローバル化社会で活躍する人材を養成する基礎となる教育を求められている。 創薬研究者の育成において、英語論文の読解、英語での学会発表や討論、英語での論文作成が必要であることは論を俟たないが、薬剤師教育においても高度の英語力は要求される。薬剤師は、外国における医薬品や副作用情報を日本語訳として出される前にいち早く入手し、信頼性があるかその情報を評価しなくてはならない。また、がんの薬物療法など新しいプロトコールも外国で行われたものは当然英語であり、医師からコメントを求められる場合には複数のプロトコールをみて薬剤師としてのコメントを返す必要がある。また、近年薬剤師による研究も増えてきており、研究に関連する論文を読み、英語で論文を書く場合も増えてきています。薬剤師が FIP (Fédération Internationale Pharmaceutique；国際薬剤師・薬学連合) などの会議に出て発表する機会も増えてくると思われる。 グローバル化が進む中、通常の業務においても日本語を理解できない外国人が患者である場合には英語で服薬指導等を行う必要がある。また、アジアにおいてはどこか一国で薬剤師の資格をとれば、他の国でも薬剤師としての資格が認められるようにする動きがあり、2014 年にはアジア諸国の薬系大学の薬学部長フォーラムが日本で開催されるなど、アジア、特に東南アジアの国々との大学教育レベルでの連携、薬剤師レベルの交流も重要になってくると考えられ、その意味でも英語は必要不可欠なツールとなる。 以上のことから、今後薬学部および薬学研究科における英語教育の充実は無眉の急である。そのため、カリキュラムの充実とともに必要な専任英語教員の導入、学生の海外研修や海外での学会発表の活発化と支援の充実が不可欠である。 具体的な数値目標としては、学部卒業時に TOEIC 700 点、大学院修了時に 750-800 点とする。
薬学部	

学部	方策及び計画等
薬学部	【2】薬学部・薬学研究科における英語教育の充実化計画 (1) 薬学英語の一部必修化 現在、専門科目としての英語は、「薬学英語Ⅰ-Ⅳ」の 4 科目 4 単位しか行われておらず、すべて選択科目である。そこで、「薬学英語」の一部必修化を行うことを検討する。 (2) 専任の理系外国人英語教員の導入とクラスの再編成 現在行われている「薬学英語」では、「薬学英語Ⅰ-Ⅱ」が外国人教員によって行われている。しかしながら、これまでの教員は理系あるいは医学薬学分野の専門教育を受けた教員ではなく、薬学英語を教えるには能力不足は否めない。さらに、非常勤教員であるため、教員が固定せず、一貫した英語教育を進める上で妨げとなっている。さらに、1 クラス 100 人を超える授業を有効なものにするには、1 クラスの学生数を少なくする必要があるが、そのためには授業の回数を増やす必要があるが、これも限られた非常勤教員では困難である。 そこで、薬学英語の授業を担当する能力のある理系外国人英語教員を専任教員として導入し、1 クラス 20－30 人程度の授業とすることを検討する。 それと同時に、薬学英語や医学英語に精通した教員を専任教員として導入し、一緒に専門英語教育のカリキュラム構築を行うことを検討する。 早期にこれらの教員の導入が困難な場合は、民間の英会話学校などと提携をし、薬学や医学に精通した講師を派遣して頂き、講義や演習をお願いすることを検討する。 (3) 新英語科目の設置 現行の「薬学英語」に加え、あるいは編成替えをして、薬学科および生命薬科学科それぞれの性格に則した英語科目を新たに設置することを検討する。 薬学科向けの選択科目としては、医療薬学に関連する専門的な英文（添付文書、トピックス、学術論文など）の読解、英語による医療薬学に関連する情報等の発信、医療現場における患者および医療従事者との間で想定される英会話等ついて修得する科目を設置することを検討する。 生命薬科学科向けの選択科目としては、英語による学会発表や学術討論、英語による学術論文作成等について修得する科目を設置することを検討する。 専任の外国人教員による授業のほか、e-learning、外国人によるセミナーや英語によるビデオ教材 (YouTube を含む) などとをとりいれることを検討する。 (4) 大学院入学試験への TOEIC 等の導入 大学院入試の英語科目として、平成 26 年度より TOEIC あるいは TOEFL を導入し、英語力の客観的な把握を行うとともに、英語学習へのモチベーションの向上をはかる。 (5) 大学院における英語による講義の実施 平成 26 年度より導入する大学院秋入学に対応して、一部の大学院講義を英語で行う。 (6) 海外研修の充実と国際交流の活性化 現在行われている、南カリフォルニア大学薬学部への研修に加え、ミシガン大学薬学部との交流と学生の研修派遣を検討する。 一方、南カリフォルニア大学およびミシガン大学からも短期的に学生を受け入れ、英語による討論会等を行うなど、交流の活発化と英語学習へのモチベーションの向

学部	方策及び計画等
薬学部	上をはかることを検討する。 (7) 大学院生の海外学会発表の活性化 海外の国際学会での大学院学生による発表を推奨するとともに、博士課程および博士後期課程においては、学位取得の要件として海外での国際学会での発表を義務付けることを検討する。 方針 (案)： 経済学部の基本的な目的は、広い教養を持ち、経済学と経営学の諸理論に精通し、各自が直面するであろう経済、経営上の諸問題に柔軟かつ的確に対応できるような人材を社会に送り出すことです。 国際的な分野で活躍する人材像としては、異文化の中にあって主体的に物事を考察し、価値観の差異を相互に理解し、多様な文化的背景を持つ人々と経済、経営上の問題解決に向けて協働し、新たな価値を生み出すことができる人材を目標とします。 この人材像を念頭に、目的意識の高い学生達に、国の内外を問わず、英語による高度な知識の獲得と、文化的背景の異なる人々との切磋琢磨の機会を、経済学部での教育を通じて提供します。また、異文化の差を理解し、相互に協力して課題を克服する新たな知見を探し求める機会を、国際交流プログラムを通じて提供します。これら機会への学生の主体的な参加により、英語運用能力を向上させることを、経済学部の方針とします。また、この方針を実行可能で意義ある計画に結びつけるためには、人的資源及び資金面での支援が不可欠です。 計画 (案)： 既存プログラムの活用 ・経済学部学生に、オリエンテーション等の機会を通じて、国際交流プログラムへの周知を行い、参加を奨励する。 ・教養教育課程での英語教育科目の履修やSALCの活用を推奨する。 既存プログラムの改良 ・学外で英語力向上に資するプログラムに参加し取得した認証や単位について、「実習」単位として単位認定や単位認替えを検討する。 ・英語による調査研究報告の実習講義（プレゼンテーション）を、英語を母語とする担当者の指導の下で提供することを検討する。 新規プログラム ・国内外で英語を使用する「実習プログラム」の新設と単位付与を模索し、目的意識の高い学生の参加と英語運用能力の向上を計る。例) 海外教育機関での短期研修プログラムに教員とともに参加することや、公的機関・企業での調査や研修に教員とともに参加する等。
人文社会学部	人文社会学部は平成25年度学部改組により、心理教育学科、現代社会学科、国際文化学科に編成替えをした。このうち国際文化学科では以前より行ってきた英語を含む語学教育をさらに強化し、「英語による専門討論1」「英語による専門討論2」を必修科目として設定すると同時に、「Lectures in English1,Lectures in English2,上級英会話1～4」を開設し、英語力向上のための体系的なプログラムを展開している。また海外派遣、海外インターンシップなどへの学生の参加も促し、現地で英語を学ぶ教育にも力を入れている。国際文化学科ではこのプログラムを着実に実施し、英語力向

学部	方策及び計画等
人文社会学部	上をめざすことを当面の方針としている。 他方で心理教育学科と現代社会学科では新たなカリキュラムにおいて英語力向上を目的意識的に取り入れていない。教養英語によって培ってきた英語力を専門教育において発展させるためのプログラムを、同学科固有の専門教育と齟齬のない形で位置づける議論を早急に開始すべきで考えている。同学科とも以前に比べて、海外派遣や海外インターンシップに参加を希望する学生が増加傾向にあるため、参加学生への支援を強化する予定である。 ＜方針＞ デザイン都市名古屋における芸術工学部は、科学・技術・芸術・文化を融合させたデザイン教育を目指している。ユネスコは、デザイン都市も含めた創造都市ネットワークづくりを進めており、アジア地域でも同様の動きがある。芸術工学部の学生は、世界中の都市から来た学生と一緒に、英語によるデザインワークショップを通じて、様々な課題に向けて問題解決できる能力を有する必要がある。 大学院への進学時、あるいは、情報デザイン、産業デザイン、建築都市デザイン分野への就職に際しても、英語による論文や報告書の執筆、英語によるプレゼンテーション資料の作成と口頭発表が可能となる英語力を修得させることを目標に、専門教育科目において、英語を母語とする外国人教師による、演習を主体とした実践教育を実施する。 ＜計画＞ 学部共通科目として、従前から実施している 芸術工学英語A（3年前期） 芸術工学英語B（3年後期） 芸術工学英語C（4年前期） 芸術工学英語D（4年後期） 上記に加えて、平成26年度から学部共通の新設科目として、 表現技法（3年後期）を実施する。 ○表現技法の内容（情報環境・産業イは必修、建築都市は選択） 6コマ 英語資料・論文の作成技法と作成演習 デザイン分野と建築都市分野の英語によるプレゼンテーション技法と演習 9コマ 日本語による学術論文の書き方演習 日常生活に必要な英語を理解し、使用できる学生を育成することをめざし、卒業までに全員がTOEIC 470点以上とすることを努力目標とする。 具体的には、入学時のTOEIC成績が470点未満であった者は3年次修了までに必ず2回目のTOEICを受験し、その成績が470点以上かそれ未満かによって以下の様に対応する。 ①TOEIC（1回目ないし2回目）が470点以上の者 教養科目の応用英語を看護学部の自由科目に位置づけ、これを受講することを推奨する。 ②TOEIC（1回目および2回目）が470点未満の者 4年次開講科目の自由科目である「国際コミュニケーション」について、現在の中国語に加えて英語も選択できるようにし、これを受講することを強く推奨する。
看護学部	